

平成21年3月1日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先

磐田市自治会連合会事務局

☎(0538)37-4811

<市自治振興課>

磐田市

自治会連合会だより

自治会連合会が大きな組織となつて4年が経過いたしました。今まで、各支部が歴史と運営の異なりを持つ中で、活動に戸惑いもありましたが、自治会長をはじめ役員の皆さん、「理解・努力」により、自治会活動の基軸である「安心・安全で住みよいまちづくり」に向かって活動を進め、その活動を通して交流が深まり自治会連合会としての一體感を持った活動へと一歩ずつ歩き始めています。

総会で確認された事業基本骨格8課題を中心に事業を推進してきました。自治会活動は、市政とのかかわりも大きいことから、市内17会場で約千人に及ぶ住民参加を得ての市政懇談会や三役・理事を中心市四役及び市議会議長や会派代表者との懇談会、そして市の大型プロジェクトの説明を求めるなどを通じて、市民の声を市政に反映させる取組みをしてまいりました。また、このような活動の様子を広く情報発信すべく、自治会連合会単独のホームページを立ち上げ、市民への情報提供に努めてまいりました。

自治会連合会が大きな組織となつて4年が経過いたしました。今まで、各支部が歴史と運営の異なりを持つ中で、活動に戸惑いもありましたが、自治会長をはじめ役員の皆さん、「理解・努力」により、自治会活動の基軸である「安心・安全で住みよいまちづくり」に向かって活動を進め、その活動を通して交流が深まり自治会連合会としての一體感を持った活動へと一歩ずつ歩き始めています。

自治会連合会が大きな組織となつて4年が経過いたしました。今まで、各支部が歴史と運営の異なりを持つ中で、活動に戸惑いもありましたが、自治会長をはじめ役員の皆さん、「理解・努力」により、自治会活動の基軸である「安心・安全で住みよいまちづくり」に向かって活動を進め、その活動を通して交流が深まり自治会連合会としての一體感を持った活動へと一歩ずつ歩き始めています。



自治会連合会長
杉田 友司

生活を取り巻く環境も大きく変わり厳しさが加わってまいりました。その大変化とは、昨年秋口からの世界同時不況の影響による、過去に経験の無い速いスピードでの深刻な景気悪化であります。起きている状況から行政の財政運営の見直しはもちろ

り行政に依存する訳にはいきません。難しいけれども、地域社会の舵取り役である自治会が中心となって、地域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)を試みることにより前進があると思います。そうした過程を経ながら、自治会は地域社会のために何ができるのか、何をしなければならないのかを考え現実を直視しながら皆さんとの協力をいただき前進をしていきた

る終わりに、本年度を持って自治会もあります「人と人との関係」の希薄化している社会にあって、住民意識・価値観の多様化であります。そうした中での住民合意形成の難しさや住民の事業参加意識の低下、加えて、自治会長の選出に難航している

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少子高齢化社会の中で、住民同士が協力し「支えあう」必要が増してきたおりますことを思うと、自治会の役割と力がさらに求められているときは無いと強く感じています。

このような内外の問題を抱えながらの自治会活動であり、自治会長の皆さんには大変なご苦労をおかけしていますが、これらの問題すべてを行政に依存する訳にはいきません。

難しいけれども、地域社会の舵取り役である自治会が中心となって、地

域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)

を試みることにより前進があると思

います。そうした過程を経ながら、

自治会は地域社会のために何ができる

のか、何をしなければならないの

かを考え現実を直視しながら皆さん

の協力をいただき前進をしていきた

いと思います。

終わりに、本年度を持って自治会

もあります「人と人との関係」の希

薄化している社会にあって、住民意

識・価値観の多様化であります。そ

うした中での住民合意形成の難しさ

や住民の事業参加意識の低下、加え

て、自治会長の選出に難航してい

る

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少

子高齢化社会の中で、住民同士が協

力し「支えあう」必要が増してきて

おりますことを思うと、自治会の役

割と力がさらに求められているとき

は無いと強く感じています。

このようないいな内外の問題を抱えなが

らの自治会活動であり、自治会長の

皆さんには大変なご苦労をおかけし

ていますが、これらの問題すべてを

行政に依存する訳にはいきません。

難しいけれども、地域社会の舵取り

役である自治会が中心となって、地

域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)

を試みることにより前進があると思

います。そうした過程を経ながら、

自治会は地域社会のために何ができる

のか、何をしなければならないの

かを考え現実を直視しながら皆さん

の協力をいただき前進をしていきた

いと思います。

終わりに、本年度を持って自治会

もあります「人と人との関係」の希

薄化している社会にあって、住民意

識・価値観の多様化であります。そ

うした中での住民合意形成の難しさ

や住民の事業参加意識の低下、加え

て、自治会長の選出に難航してい

る

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少

子高齢化社会の中で、住民同士が協

力し「支えあう」必要が増してきて

おりますことを思うと、自治会の役

割と力がさらに求められているとき

は無いと強く感じています。

このようないいな内外の問題を抱えなが

らの自治会活動であり、自治会長の

皆さんには大変なご苦労をおかけし

ていますが、これらの問題すべてを

行政に依存する訳にはいきません。

難しいけれども、地域社会の舵取り

役である自治会が中心となって、地

域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)

を試みることにより前進があると思

います。そうした過程を経ながら、

自治会は地域社会のために何ができる

のか、何をしなければならないの

かを考え現実を直視しながら皆さん

の協力をいただき前進をしていきた

いと思います。

終わりに、本年度を持って自治会

もあります「人と人との関係」の希

薄化している社会にあって、住民意

識・価値観の多様化であります。そ

うした中での住民合意形成の難しさ

や住民の事業参加意識の低下、加え

て、自治会長の選出に難航してい

る

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少

子高齢化社会の中で、住民同士が協

力し「支えあう」必要が増してきて

おりますことを思うと、自治会の役

割と力がさらに求められているとき

は無いと強く感じています。

このようないいな内外の問題を抱えなが

らの自治会活動であり、自治会長の

皆さんには大変なご苦労をおかけし

ていますが、これらの問題すべてを

行政に依存する訳にはいきません。

難しいけれども、地域社会の舵取り

役である自治会が中心となって、地

域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)

を試みることにより前進があると思

います。そうした過程を経ながら、

自治会は地域社会のために何ができる

のか、何をしなければならないの

かを考え現実を直視しながら皆さん

の協力をいただき前進をしていきた

いと思います。

終わりに、本年度を持って自治会

もあります「人と人との関係」の希

薄化している社会にあって、住民意

識・価値観の多様化であります。そ

うした中での住民合意形成の難しさ

や住民の事業参加意識の低下、加え

て、自治会長の選出に難航してい

る

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少

子高齢化社会の中で、住民同士が協

力し「支えあう」必要が増してきて

おりますことを思うと、自治会の役

割と力がさらに求められているとき

は無いと強く感じています。

このようないいな内外の問題を抱えなが

らの自治会活動であり、自治会長の

皆さんには大変なご苦労をおかけし

ていますが、これらの問題すべてを

行政に依存する訳にはいきません。

難しいけれども、地域社会の舵取り

役である自治会が中心となって、地

域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)

を試みることにより前進があると思

います。そうした過程を経ながら、

自治会は地域社会のために何ができる

のか、何をしなければならないの

かを考え現実を直視しながら皆さん

の協力をいただき前進をしていきた

いと思います。

終わりに、本年度を持って自治会

もあります「人と人との関係」の希

薄化している社会にあって、住民意

識・価値観の多様化であります。そ

うした中での住民合意形成の難しさ

や住民の事業参加意識の低下、加え

て、自治会長の選出に難航してい

る

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少

子高齢化社会の中で、住民同士が協

力し「支えあう」必要が増してきて

おりますことを思うと、自治会の役

割と力がさらに求められているとき

は無いと強く感じています。

このようないいな内外の問題を抱えなが

らの自治会活動であり、自治会長の

皆さんには大変なご苦労をおかけし

ていますが、これらの問題すべてを

行政に依存する訳にはいきません。

難しいけれども、地域社会の舵取り

役である自治会が中心となって、地

域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)

を試みることにより前進があると思

います。そうした過程を経ながら、

自治会は地域社会のために何ができる

のか、何をしなければならないの

かを考え現実を直視しながら皆さん

の協力をいただき前進をしていきた

いと思います。

終わりに、本年度を持って自治会

もあります「人と人との関係」の希

薄化している社会にあって、住民意

識・価値観の多様化であります。そ

うした中での住民合意形成の難しさ

や住民の事業参加意識の低下、加え

て、自治会長の選出に難航してい

る

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少

子高齢化社会の中で、住民同士が協

力し「支えあう」必要が増してきて

おりますことを思うと、自治会の役

割と力がさらに求められているとき

は無いと強く感じています。

このようないいな内外の問題を抱えなが

らの自治会活動であり、自治会長の

皆さんには大変なご苦労をおかけし

ていますが、これらの問題すべてを

行政に依存する訳にはいきません。

難しいけれども、地域社会の舵取り

役である自治会が中心となって、地

域で人々が安心して暮らすことのできる生活圏を行政と一緒(協働)に智恵を出して、創り上げていくという時代を迎えたと思います。

どのような組織も活動の反省(総括)

を試みることにより前進があると思

います。そうした過程を経ながら、

自治会は地域社会のために何ができる

のか、何をしなければならないの

かを考え現実を直視しながら皆さん

の協力をいただき前進をしていきた

いと思います。

終わりに、本年度を持って自治会

もあります「人と人との関係」の希

薄化している社会にあって、住民意

識・価値観の多様化であります。そ

うした中での住民合意形成の難しさ

や住民の事業参加意識の低下、加え

て、自治会長の選出に難航してい

る

という現況下にあります。

一方で、地域社会においては、少

子高齢化社会の中で、住民同士が協

力し「支えあう」必要が増してきて

おりますことを思うと、自治会の役

割と力がさらに求められているとき

は無いと強く感じています。

多文化共生社会に向けた取組み

【取組み推進地区会議】

外国人居住率の高い地区を連合会の各支部からモデル地区として選出し、外国人との顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

今年度は7月と11月に会議を開催し、取り組み状況や苦労話などの情報交換が行われました。

各地区の特徴的な取組み



▲日本語教室（井通）



▲夏まつりでのみこし担ぎ（今之浦）

● 今之浦（磐田）
・ 地区内の居住状況調査の実施
・ 夏祭りへの参加呼びかけ
・ ブラジル人主催のイベント開催協力

● 福田南（福田）
・ ポルトガル語版広報の配布と世帯訪問

● 西（竜洋）
・ 環境美化行動への参加呼びかけ
・ 防災訓練への参加呼びかけ

● 井通（豊田）
・ 子どもたちの祭ばやし練習参加

● 岐阜県美濃加茂市古井地区多文化共生座談会の皆さん
の皆さん

● 観察では、お互
いの活動状況を説
明し、取組みの苦
労話や工夫した点
などについて意見
を交わしました。



▲美濃加茂市の皆さんとの意見交換

【各支部情報懇談会】

磐田・豊田の両支部では、外国人の居住比率の多い自治会を対象に懇談会を年2回開催しています。取り組み推進地区よりも広範囲の自治会を対象としており、多文化共生に対する理解を深めるとともに活動の方向性について意見交換しています。



▲小グループでの懇談（磐田支部）

磐田支部では既に行われている地域開催ですが、今年度から竜洋支部及び豊岡支部の自治会において、敬老会の地域開催が始まりました。年々参加者が減少する敬老会をどうなにも参加しやすい会とするために、各自治会において協議が重ねられ、それぞれが工夫を凝らした会となりました。

結果は、両支部とも参加率が大幅にアップしました。（詳細は、別表のとおり）

また、出し物の内容は、

- ・ 子どもたちの合唱
- ・ まつり離子の披露
- ・ ダンスの披露
- ・ 楽器演奏

敬老会の地域開催始まる竜洋・豊岡

など、バラエティに富んだものとなりました。

参加者からは、「会場が近く、足を運びやすい。」「近所の顔見知りが多く、たくさんお話ができるて楽しかった。」といった感想が寄せられました。

来年度は、福田支部、豊田支部の自治会においても地域開催が始まる予定です。



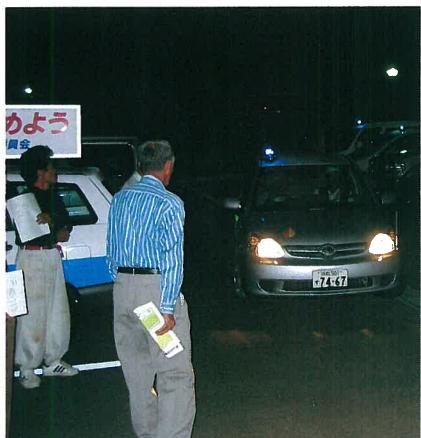
▲健康体操でリフレッシュ（内名自治会：竜洋支部）



▲子どもたちのよさこい披露（東地区：豊岡支部）



▲設立総会で活動目標を確認



▲青色回転灯装着車の機動力に期待



▲設立総会で活動方針を確認

防犯に終わりはありません。せっかく定着してきた地域防犯活動をここで止めてしまい、犯罪発生の多い町にすぐに戻ってしまいます。「自分の財産は自分で守る。」が原則ですが、一人でも多くの住民の皆さん

が活動に参加して、防犯意識の高い、犯罪に強い地域を作つていきましょう。



富岡西地区安全安心まちづくりネットワーク推進会議（豊田支部）

平成20年度新規設立 地区防犯組織の紹介！

富岡西地区自治会では、昨年7月20日に「富岡西地区安全・安心まちづくりネットワーク推進会議」を開催しました。

「地域住民の安全・安心を確保することを目的に活動している多くの個人や団体、関係機関及び事業者等のネットワークを構築して地域住民が安全で安心して住める明るいまちづくりの推進と自主防災活動、福祉推進活動に活用する。」ことを目的としています。

子どもの見守り・防犯パトロールを中心に活動しています。

当協議会では、地区の特性を考慮し、青色回転灯装着車によるパトロールを活動の中心と位置づけ、車両登録者も理事として参加しています。現在12台の登録車両を使い、月3～4回の割合で防犯パトロールを実施し、地区住民の安全・安心に寄与しています。

豊岡東地区自治会では、昨年9月24日に「豊岡東地区防犯協議会」を豊岡支部内では初めて発足させました。

「犯罪の防止と防犯意識の普及高揚を図り、地域住民が互いに見守り合い、助け合う住民同士の日が行き届いた、安全に安心して暮らすことのできるまちづくり」を目的にしています。

今年の1月25日、「豊浜地区防犯まちづくり協議会」が、福田支部では初めての地区安全会議として発足しました。

「各種団体や関係機関と連携し、地域防犯にかかる諸事業を展開することと、地域の防犯環境の整備及び地域住民の防犯意識の高揚に寄与し、もって本地区住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進すること」を目的にしています。

豊岡東地区防犯協議会（豊岡支部）

豊浜地区防犯まちづくり協議会（福田支部）

活動の継続で、さらなる犯罪の減少を
市自治振興課防犯交通専門監 横山隆一氏

静岡県内の刑法犯発生状況を見ますと、平成14年以来6年連続して減少しています。これは県下的に住民による防犯活動が定着してきた現れではないかと分析されています。

磐田市内においても県下同様に刑法犯の発生状況は減少しています。やはり市民の皆さんがそろいの防犯グッズを身に着け、また、青色回転灯を装着した車で地域をパトロールしてきたことが犯罪の減少に繋がっていると思います。

防犯に終わりはありません。せっかく定着してきた地域防犯活動をここで止めてしまい、犯罪発生の多い町にすぐに戻ってしまいます。「自分の財産は自分で守る。」が原則ですが、一人でも多くの住民の皆さん



資源リサイクル工場を見学

12月11日（木）環境部の主催により、磐田市の家庭から排出される容器包装プラスチックや廃食用油がどのような工程を経て再利用されているのかを視察するため、受け入れているそれぞれの工場を訪問しました。

（株）グリーンループ（菊川市）では、持ち込まれた容器包装プラスチックが手作業により選別され、プラスチック製品の原料となる“ペレット”へ加工される過程を、静岡油化工業（静岡市駿河区）では、持ち込まれた廃食用油がバイオディーゼル燃料（軽油代替燃料）に精製される様子を見学しました。



▲集めた廃食用油を精製する（静岡油化）

▲手選別により不要なものは取り除かれる（グリーンループ）

市が進める大型プロジェクト 説明会を実施しました

ホームページ随時更新中
<http://www.iwatashi-jichikai.jp>

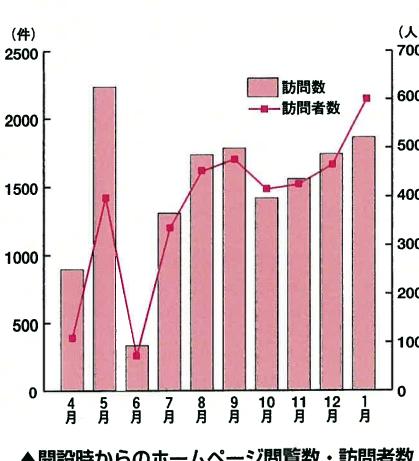
磐田市が進める大型社会基盤整備事業の説明会を、理事会において4回にわたり実施しました。この説明会では、単に事業の情報提供を受けるだけではなく、事業に対する説明を直接市側から受け、さらに意見交換もしました。

そのことを通して、事業に対する理解を深めることができました。そこで意見交換もしました。

また、本会が取り組む多文化共生事業は、全国的にも注目を集めていることから、県外からもホームページを訪れる方が多くなっています。

4月から1月末までにホームページをご覧になった方は、延べ3700人余りになります。

今後も自治会長の皆さんを始め、住民の皆さんにとって役立つそして楽しい情報を提供できるようページの充実を図っていきます。



▲開設時からのホームページ閲覧数・訪問者数

連合会では、市政に関して住民の皆さんが必要としている情報を提供できるよう、今後もこのような機会をもつていきたいと考えています。

こんな願いを込めた役員の努力を本号から読み取っていただければ幸いですし、併せて市民の皆さんの自治会活動への参画・参加に大きな期待を表明します。

設立後4年目の自治会連合会は、今回紹介した多文化共生の組織の設立等、まちづくりの基本理念である「協働」が地区自治会の実践活動として大きく拡がった年度を送りました。

この4年目は、行政並びに市議会の節目の年度であり、それまでの立場から4年間の総括と今後の展望が語られるでしょう。私たちは、それらに耳を傾けつつも、連合会として活動を虚に振り返り、同時に市民を代表とする組織として、智恵を絞り力量を発揮することが一層求められているとの自覚を持つて、活動の更なる前進を図らねばなりません。

編集後記



編集委員長
村松伸洋(総務部長)

